

2025年11月7日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

ＪＡ長崎せいひは、食と農を大切にし、安心と信頼を満たす活動により、豊かな地域社会を確立し、「組合員・地域住民にとってより身近なＪＡ」「人と人のつながりを大切にするＪＡ」となることを理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「組合員・利用者さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を組合員・利用者さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済連）が、共同で事業運営しております。

長崎西彼農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

<商品選定の考え方>

(→JAバンクのセレクトファンドの主な選定基準等※)

- ①長期投資：長期投資を前提とした投資信託であること
- ②手数料：手数料が良心的な水準であること
- ③運用実績：過去の運用実績が相対的に良好であること
- ④将来性：資産形成層には過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- ⑤運用体制：運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則 2 本文および(注)、
原則 6 本文および(注2、3、6、7)】、補充原則 1～5 本文および(注)】

当組合は、食と農を大切にし、安心と信頼を満たす活動により、豊かな地域社会を確立し、「組合員・地域住民にとってより身近なJA」「人と人のつながりを大切にするJA」となることを理念として掲げ、リスクも多様化する中、組合員・利用者さまのニーズを幅広く把握し、高齢化社会にも貢献し、組合員・利用者さまに寄添い信頼していただけるよう、最適な共済仕組み・サービスの提供に努めてまいります。

当組合は市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供しておりません。

なお、共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会が、共同で事業運営しており、組合員・利用者さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

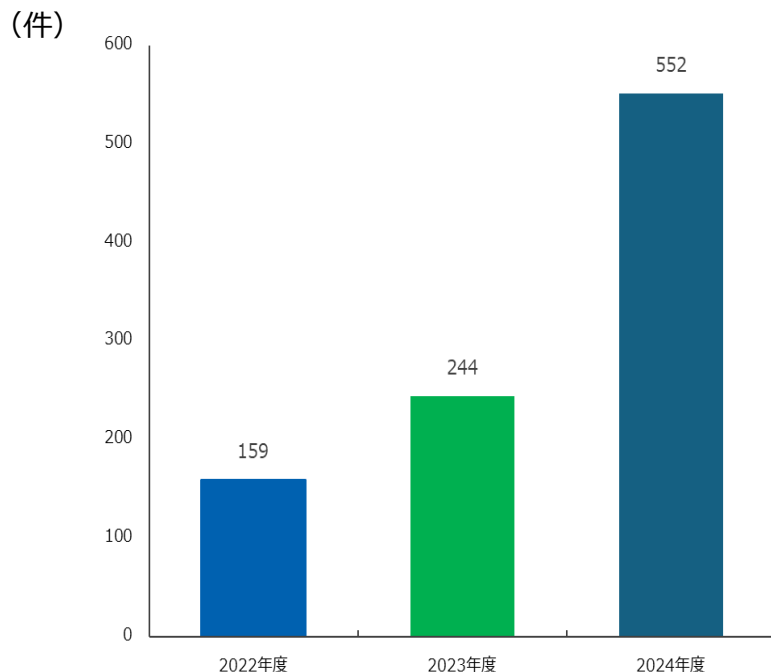
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

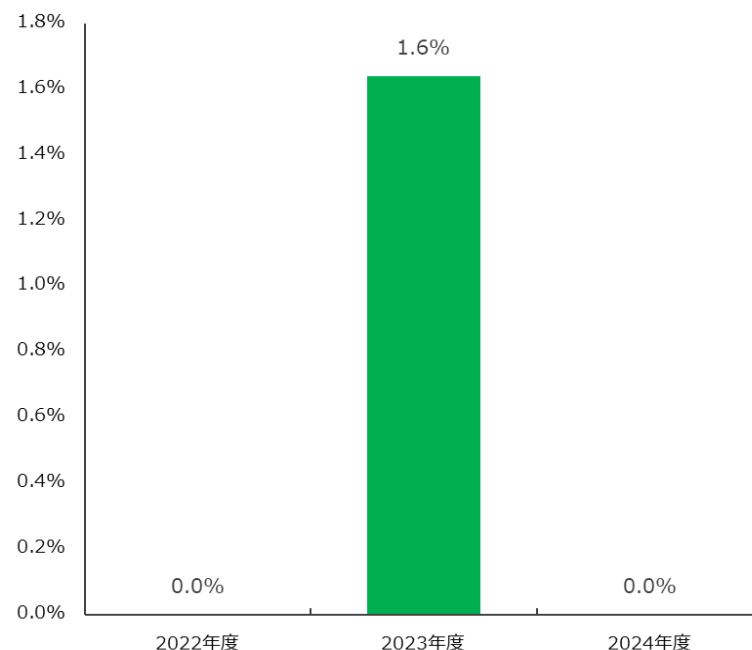
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者さまに金融商品・サービスを提案する際には、組合員・利用者さまの経験・金融知識等に応じて、各種説明資材を活用し、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項に関しては、組合員・利用者さまの理解度を常に確認しながら丁寧にご説明するとともに、組合員・利用者さまの理解度と商品性に応じて、明確かつ平易で、誤解を招くことのないよう正確な内容の情報提供を実施しました。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

共済仕組み・サービスの提案にあたっては、組合員・利用者さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。

特に、ご高齢の組合員・利用者さまに対しては、役席者の同席等により、複数名で理解度を確認したうえで、組合員・利用者さまが納得いくまで懇切丁寧にご説明します。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

組合員・利用者さまへの商品選定や情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者さまの利益を不当に害することがないよう「利益相反管理方針」に基づきモニタリングを実施。利益相反管理の状況を常に検証・評価する体制を構築し適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

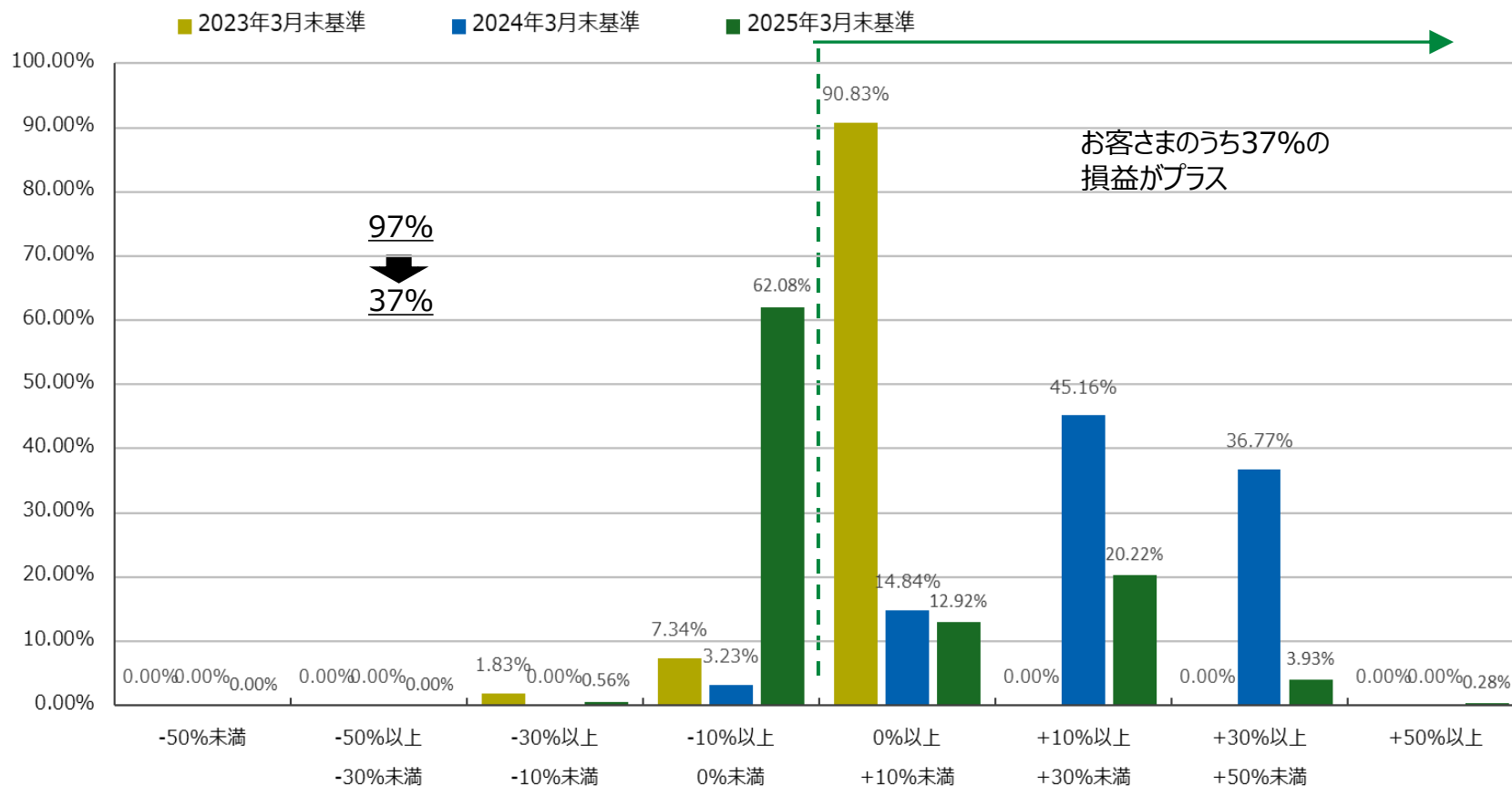
当組合では組合員・利用者さまに対して最良・最適な金融商品・共済仕組み・サービスを提供出来るよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、資格取得の支援等、継続的に職員の育成を行う態勢を構築していきます。

また、組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組みます。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきましたが、トランプ大統領がカナダ、メキシコ、中国に対する関税を発動したことに加え、一時的な景気減速を容認する旨の発言をしたことなどの影響から、2025年3月末時点では全体の37%のお客さまの損益がプラスという結果となりました。

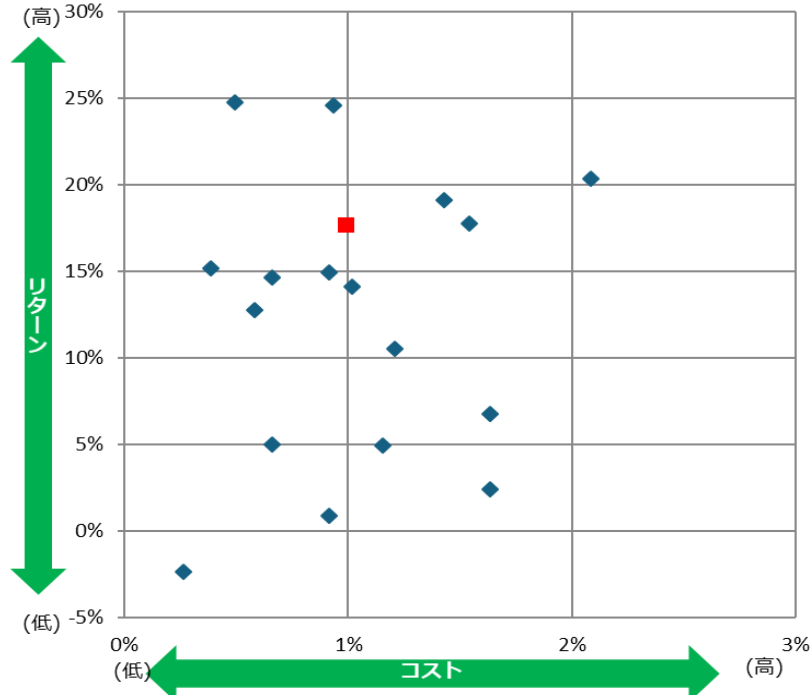


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

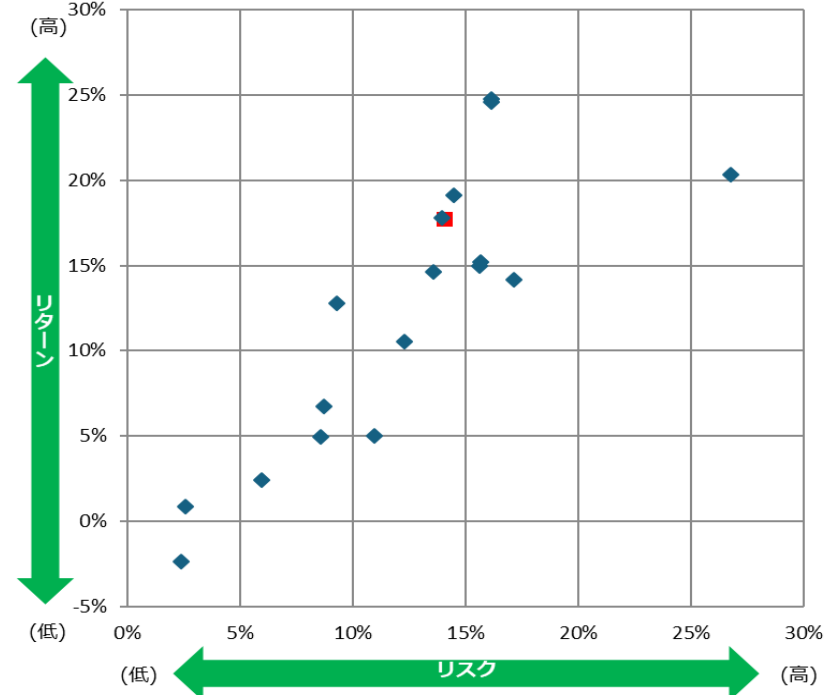
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.99%、平均リスク14.06%に対して、平均リターンは17.70%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



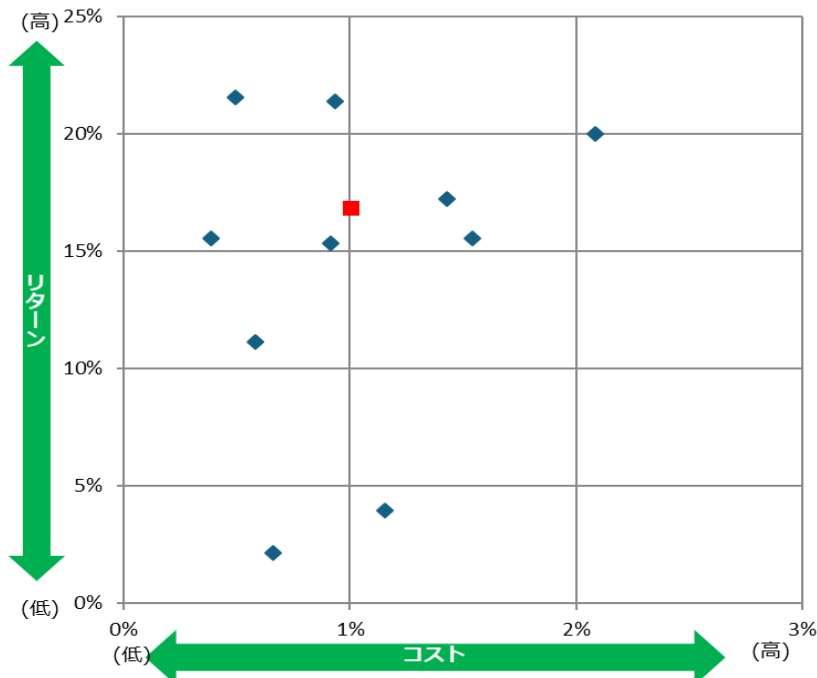
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

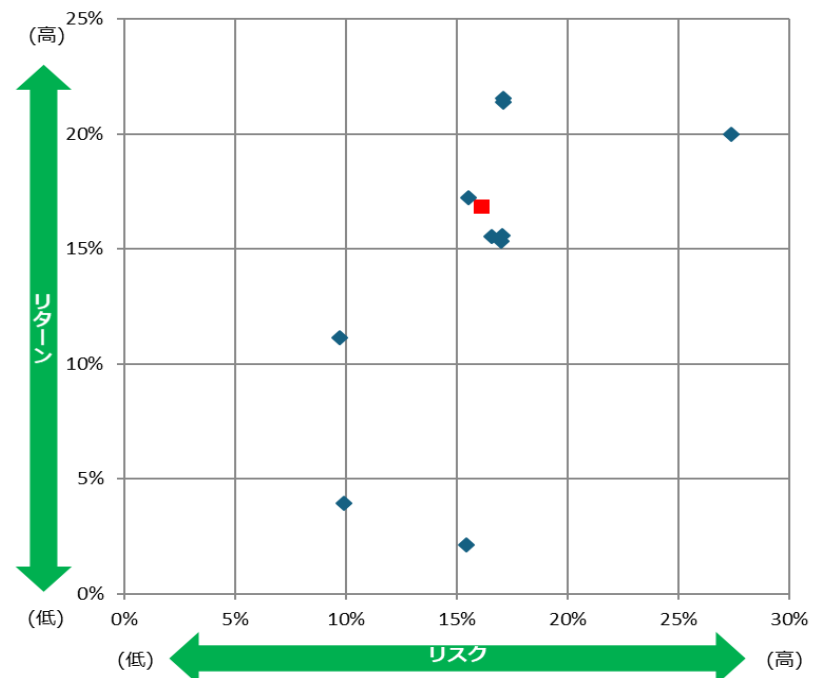
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.00%、平均リスク16.10%に対して、平均リターンは16.84%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



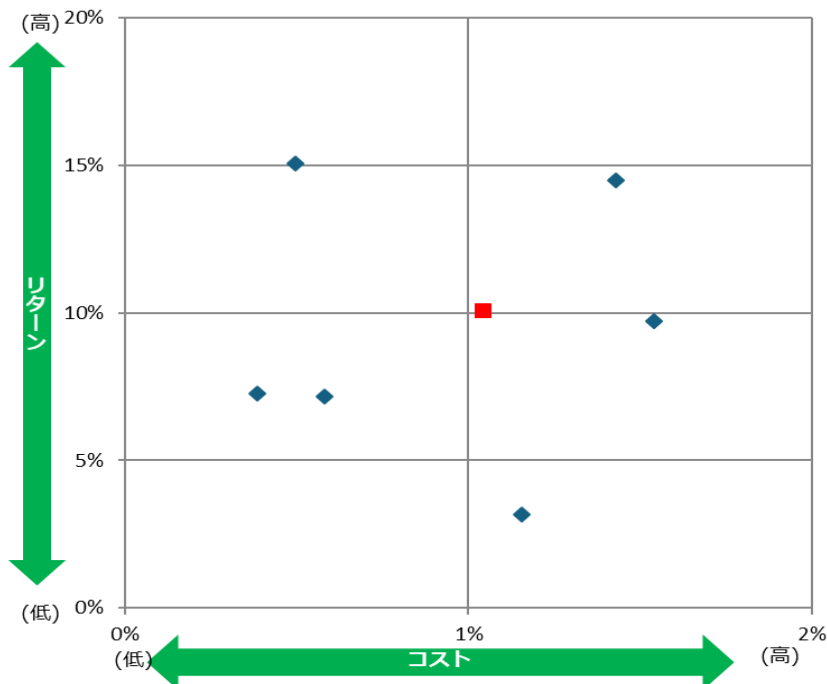
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

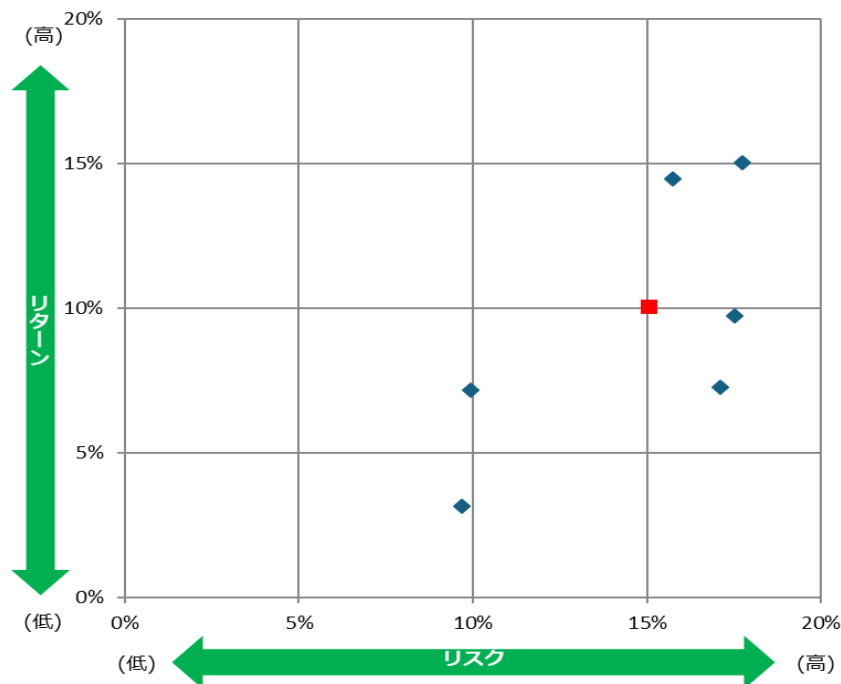
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク15.06% に対して、平均リターンは10.06% でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
6	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
10	おおぶね J A P A N （日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
11	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
12	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス（資産形成型）	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
13	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
14	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.87%	2.57%	0.91%
15	HSBC世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
16	J-R E I Tインデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.99%	10.96%	0.66%
17	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.70%	14.06%	0.99%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
4	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
6	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
8	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
10	J - R E I T インデックス (年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.14%	15.44%	0.66%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.84%	16.10%	1.00%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて N I S A 米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
2	日米 6 資産分散ファンド (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	つみたて N I S A 日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	7.18%	9.92%	0.58%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計 / 残高加重平均値		10.06%	15.06%	1.04%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。